

スポーツ学部 スポーツ学科 カリキュラムフローチャート(2026年度以降入学生)

○：必修科目 ●：選択科目 []：単位数

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		最低修得単位数	卒業要件単位数
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
総合共通科目	文化・芸術領域：●ことばと日本文化[2]、●スポーツの文化[2]、●ことばと異文化[2]、●情報文化論[2] 歴史・社会領域：●歴史と国際情勢[2]、●現代国家と法(日本国憲法)[2]、●暮らしと経済[2]、●人権・同和教育[2] 人間・環境領域：●人間と哲学[2]、●生命と地球[2]、●心の科学[2]、●共生社会を生きる[2]									
	●英語Ⅰ[1] ●中国語Ⅰ[1] ●韓国語Ⅰ[1] → ●英語Ⅱ[1] ●中国語Ⅱ[1] ●韓国語Ⅱ[1] ●日本語表現Ⅰ[1] → ●英語コミュニケーションⅠ[1] ●中国語Ⅲ[1] ●韓国語Ⅲ[1] ●日本語表現Ⅱ[1] → ●英語コミュニケーションⅡ[1] ●中国語Ⅳ[1] ●韓国語Ⅳ[1] ●日本語表現Ⅲ[1] → ●実用英語Ⅰ ●実用中国語Ⅰ ●実用韓国語Ⅰ									
	○データサイエンス入門Ⅰ[1] → ○情報処理演習Ⅰ[1] → ○情報処理演習Ⅱ[1] → ○情報処理演習Ⅲ[1]									
	○キャリア基礎演習Ⅰ[1] → ○キャリア基礎演習Ⅱ[1] → ○キャリア基礎演習Ⅲ[1] → ○キャリアデザインⅠ[1] → ○キャリアデザインⅡ[1]									
学部共通科目	○解剖生理学[2] ●スポーツ運動学(運動方法学を含む。)[2] ○スポーツ指導論[2] ●北九州市の教育課題[2] → ●スポーツ生理学[2] ●スポーツバイオメカニクス[2] ●スポーツ社会学[2] ●スポーツ心理学[2] ●アダプテッドスポーツ概論[2] → ●安全・健康管理[2] ●スポーツ栄養学[2] ●アダプテッドスポーツ指導法[2] → ●体力トレーニング論[2] ●発達発達老化論[2] ●アダプテッドスポーツ演習[2] ●パラスポーツ活動実習[1] ●レクリエーション論[2]									
	●衛生学及び公衆衛生学[2] ●テピング実習[1] ●健康フィットネス論[2] → ●健康づくり運動理論[2] ●救急対応実習[1] → ●スポーツ統計学[2] ●運動生理学実験[1] ●スポーツ動作解析法[1] ●生活習慣病理論[2] ●キャリアアドバンス公務員養成Ⅰ[1] ●キャリアアドバンスA T養成Ⅰ[1] ●キャリアアドバンスA T養成Ⅱ[1] → ●スポーツクラブのマネジメント[2] ●運動プログラムの管理[2] ●健康栄養指導演習[2] ●キャリアアドバンス公務員養成Ⅱ(中・高)[1] ●キャリアアドバンス公務員養成Ⅲ(中・高)[1] ●キャリアアドバンスA T養成Ⅲ[1] ●キャリアアドバンスA T養成Ⅳ[1] ●キャリアアドバンスA T養成Ⅴ[1] ●スポーツの歴史と文化[2] ●キャリアアドバンス健康指導者養成Ⅱ[1]									
	●トレーニング実習[1] ●体力測定評価法実習[1] → ●救急処置[2] → ●健康産業施設実習[2] ●キャリアアドバンスJATI/AT養成[1]									
	●アスリートマネジメント概論[2] ●コーチング各論A[2] ●トレーニング計画論[2] ●レジスタンストレーニング実習[1] → ●コーチング各論B[2] ●コーチングシステム論[2] ●メンタルトレーニング演習[2] → ●コーチング実習[1] ●スポーツコミュニケーション論[2] ●スポーツパフォーマンス測定実習[1] ●地域スポーツ論[2] → ●スポーツゲーム分析演習[2] ●スポーツ戦略論[2] ●アスリート栄養実習[2]									
専攻コース科目	●アスリートマネジメント概論[2] ●アスリートマネジメント概論[2] → ●社会体育論[2] ●ジュニアスポーツ論[2] → ●学校体育のマネジメント[2] ●学校体育指導演習[2] ●学校保健Ⅰ(学校安全を含む。)[2] ●ジュニアスポーツ指導演習[2] → ●学校保健Ⅱ(小児保健を含む。)[2]									
	●養護概論[2] ●予防医学[2] ●看護学Ⅰ[2] → ●看護学Ⅱ[2] → ●看護学実習Ⅰ[1] ●健康相談活動[2] ●栄養学(食品学を含む。)[2] ●精神保健[2] → ●臨床実習Ⅰ[2] ●臨床実習Ⅱ[1]									
	●障害者教育総論Ⅰ[2] ●障害者教育総論Ⅱ[2] → ●知的障害者の心理・生理・病理[2] ●身体不自由者の心理・生理・病理[2] ●病弱者の心理・生理・病理[2] → ●知的障害者教育[2] ●肢体不自由者教育[2] ●病弱者教育[2] → ●知的障害者指導法[2] ●肢体不自由者指導法[2] ●障害者の病理・保健[2] ●発達障害教育総論[1] → ●視覚障害教育総論[1] ●聴覚障害教育総論[1] ●重複障害教育総論[1]									
	●アスレティックトレーナー概論[2] ●機能解剖学Ⅰ[2] ●スポーツ外傷・障害論Ⅰ[2] ●コンディショニングⅠ[2] ●検査・測定と評価[2] → ●アスレティックトレーナー概論[2] ●機能解剖学Ⅱ[2] ●スポーツ外傷・障害論Ⅱ[2] ●コンディショニングⅡ[2] ●スポーツ外傷・障害の予防[2] → ●アスレティックトレーニング概論実習Ⅰ[1] ●アスレティックトレーニング概論実習Ⅱ[1] → ●アスレティックトレーニング概論実習Ⅲ[1] ●アスレティックトレーニング概論実習Ⅳ[1] → ●アスレティックトレーニング概論実習Ⅴ[1] ●アスレティックトレーニング概論実習Ⅵ[1]									
自由選択科目	●スポーツ政策各論[2] ●スポーツ組織論[2] ●生涯スポーツ論[2] → ●スポーツ政策各論[2] ●地域スポーツ政策演習[2] ●生涯学習と社会体育[2] → ●生涯スポーツと社会体育の指導者[2] ●生涯学習支援方法論[2] → ●生涯スポーツと社会体育の計画・立案[2] ●生涯スポーツと社会体育の経営[2] ●ボランティア活動と生涯スポーツ[2] → ●地域スポーツ指導実習[1] ●スポーツ社会教育演習[2]									
	○ゼミナールⅠ[2] ○ゼミナールⅡ[2] ○ゼミナールⅢ[2] ○ゼミナールⅣ[2] → ○キャリア発展ゼミナール[4]									
自由選択科目	●体操(体づくり運動を含む。)[1] ●陸上競技A[1] ●バスケットボール[1] ●サッカー[1] → ●器械運動[1] ●陸上競技B[1] ●水泳[1] ●バレーボール[1] ●バドミントン[1] ●ダンス[1] ●剣道[1] ●柔道[1] ●エアロビクダンス[1] → ●ソフトボール・野球[1] ●テニス[1] → ●ハンドボール[1] ●ラグビー[1] ●健康づくり運動実技[1] ●アクアエクササイズ[1] → ●ソフトボール・野球[1] ●テニス[1] ●レクリエーション実技[1]									
	●キャンプ[1] ●マリンスポーツ[1] ●スノースポーツ[1]									
自由選択科目	教職課程関連科目、K-CIP関連科目、他学部・他学科等の科目									

卒業認定・学位授与の方針 (DP)

スポーツ学科は、総合的な教養、スポーツ分野での多様な専門知識を身に付け、幅広い教養かつ専門性を併せ持ったスポーツ指導者・健康づくり指導者を養成することを旨とする。この基本理念をもとに、以下を満たした学生に卒業を認定し、学位を授与する。

【知識・技能】
 学士(スポーツ学)として相応しい幅広い教養を身に付け、総合的なスポーツ指導・健康づくりの学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身に付けている。

【思考力・判断力・表現力】
 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身に付けている。また、礼節を重んじ高い力量をもつスポーツ指導者の素養を身に付け、地域社会の中で率先して行動できる力を身に付けている。

【主体性・協働性・倫理性】
 専門性を併せ持ったスポーツ指導者・健康づくり指導者として、高い倫理性をもって自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身に付けている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者との協働を通じ、積極的にボランティア活動等を実践し、社会貢献できる力を身に付けている。